

作品募集 第70回 市民文化祭展示部門

皆さんが、日頃努力して制作した作品を発表する機会として、ぜひ応募してください。作品は、焼津文化会館展示室A指定の搬入日時に出品物を添えて直接搬入してください。
応募方法など詳しくは、各部門へお問い合わせください。
問合せ 文化振興課 0626-9412 0626-2188

部門	対象	展示期間	会場	規格・出品料	搬入日時	問合せ先
絵画	16歳以上の市内在住・在勤者	10/19(木)～22(日) 9:30～17:00 ※最終日は、16:00まで。	小ホール	日本画、水彩画、油絵、ミックスメディア、版画 ※額装ガラス不可、飾り付け用のひもを付ける。 *大作の部…12～100号(版画は40号以上) *小品の部…3～10号または8～4つ切(版画は39号以内) 1人1点、1,000円	9/30(土) 13:00～17:00	石田 0623-2870
写真	16歳以上の市内在住・在勤・在学者			A4～四つ切、1人3点以内 ※無審査、出品料なし。	9/30(土) 13:00～16:00	見崎 090-3155-1487
工芸	16歳以上の市内在住・在勤・在学(カルチャースクール含む)者	10/14(土)～18(日) 9:30～17:00 ※最終日は、16:00まで。	展示室	革工芸・染の花・陶芸・木工・彫刻など、平面…2枚×2枚以内、立体…縦・横・高さのうち最長辺が2枚以内で、そのほかの辺が1枚以内、1人1点、1,000円	9/30(土) 13:00～17:00	田中 090-3253-4582
書道	16歳以上の市内在住・在勤者、協会会員、焼津市出身者	※16日(月)は休館。 ※16日(月)は休館。	小ホール	1人1点、1部…県展サイズ以下・額装・2,000円、2部…半折サイズ以下35号×135号・無表装・1,000円 ※縦横自由ではがき大の釈文景を添付。	9/30(土) 9:00～11:00	石田 0629-1663
華道	部門会員	10/21(土)9:30～18:00、10/22(日)9:30～16:00	展示室	花台90号×90号、1人1,000円	10/20(金) 13:00～20:00	吉田 0622-0308
茶道	どなたでも	10/29(日) 10:00～15:00	和室ほか	茶会		松永 0628-7016

令和5年 住宅・土地統計調査

令和5年10月1日を調査期日として住宅・土地統計調査が実施されます。この調査は、住生活に関する最も基本的で重要な調査で、抽出により決定された全国約340万世帯が調査対象となります。調査結果は、耐震や防災を中心とした都市計画の策定、空き家対策条例の制定など、幅広く利用されます。
問合せ 総務課 庶務統計担当 0626-2154

調査をお願いする世帯(市内では約3,600世帯)には、9月下旬から調査員が調査書類の配布に伺います。インターネット回答のほか、紙の調査票を郵送または調査員に提出する方法により回答をお願いします。※この調査では、便利なインターネット回答をお勧めしています。スマートフォン・タブレット端末にも対応していますので、ぜひご利用ください。※回答内容は、統計法により厳重に保護されます。

出張版 病院広報誌 **ひだまり** HIDAMARI Vol.6

問合せ 市立総合病院 病院経営戦略課 0623-3111代

安心して お産み いただくために

当院では妊婦さんと赤ちゃんの健康を考え、安心して出産と育児に臨める環境を提供しています。

故郷で安心して産みたい里帰り出産

妊婦さんが実家などに帰省し出産する里帰り出産。慣れ親しんだ場所でサポートしてくれる家族がそばにいることで、余裕を持って産前産後を過ごしやすいなどのメリットがあります。心身ともに健やかに出産を迎えることができます。

ように、当院では里帰り出産に対応しています。また、コロナ禍において中断していた夫の立ち合い出産・待機室付き添いを再開しています。

周産期センターが母子をサポート

妊娠から出産、新生児の育児までサポートができるよう産婦人科、小児科という枠を超え、医師20人を配置するなど充実したスタッフの下、地域周産期母子医療センター(以後、周産期センター)を設けています。

周産期センターでは豊富な知識と経験を持った医師や看護師、助産師などのスタッフがそろっており、妊娠中から出産後までの母子の健康管理に努めています。妊娠中の定期健診から産後のケアまで母子の健康をトータルでサポートしています。総合病院の特徴を生かし切迫早産や胎児異常など母体または胎児へのリスクが高い妊娠にも対応しています。

また、周産期センターには早産児や低出生体重児を診療するためのNICU(Neonatal Intensive Care Unit)があり、安定した状態になるまで様子を確認します。NICUにいるときでもあっても衛生面に配慮した上でお母さんが一時的に触れ合えたり授乳できたりします。

少子化が続く情勢ではありますが、当院NICUの稼働は一定であり地域でのリスクのある出産に貢献していると考えています。NICUを出た後も、運動発達がゆっくりなお子さんには小児専門の理学療法士がリハビリに当

り、また、お父さんの状況に応じて作業療法士・言語聴覚士も支援する体制を整えています。


お祝い膳リニューアルが好評です!

出産後のお母さんに最大限のお祝いの気持ちを病院から伝えられるよう、当院の栄養科と地元の観光ホテルが協力し、出産後に提供しているお祝い膳を昨年12月にリニューアルしました。

リニューアルしたお祝い膳は、地産地消の県内産の食材を活かしたメニューとなっているのが特徴です。ゆっくりと心安らぐ時間を過ごしていただけるよう食器にもこだわり、料理は調理師が直接お部屋までお運びします。召上がった産婦さんからは、喜びの声をいただいています。

今後も、総合病院の特徴を生かしながら、地域の周産期医療に貢献できるよう取り組んでまいります。

市立総合病院ホームページ 地域周産期母子医療センター

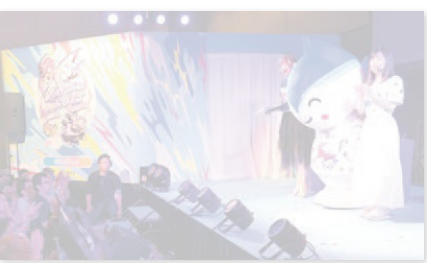



リニューアルしたお祝い膳



バルーンリリースで節目を祝う

7/15(日)、「ターントクルこども館」の入館者数が15万人を達成したことから、記念式典が開催されました。色とりどりの風船を空へ浮かべ、入館者数15万人の達成を祝いました。15万人目となったのは、浜松市在住の村田さんご家族。村田さんは、「室内で安心して遊ぶことができるこの施設は、親としては大変ありがたい。今日は家族で一杯遊びたい」と話してくれました。



焼津の魅力が青木詩織さんがPR

メタバース(WEB上の仮想空間)上で開催された世界最大級のVRイベント「バーチャルマーケット2023」(7/15(土)～30(日))に合わせ、7/29(土)・30(日)に秋葉原(東京都)でイベントが開催されました。やいづ親善大使の青木詩織さん(SKE48)が焼津市PRステージに出演し、天然焼津ミナミマゴロの解体ショーを行うなど、市の魅力を世界に向けてPRしました。



愛らしいキャラクターで運行開始

大井川地区デマンドタクシー「くるりん号」のイメージキャラクターのデザインが公募により決定し、7/15(土)に表彰式が行われました。デザインを考案した小島亜早美さん(上新田)が表彰式に出席。小島さんは「くるくる回る風車のような羽根と市の鳥『ゆりかもめ』をイメージしてデザインしました」と思いを語りました。現在、新デザインの「くるりん号」が大井川地区を運行しています。

海への理解を深め、友情を育む

7/26(水)～28(金)、「やいづ少年の船」が開催され、市内中学生36人が県立焼津水産高等学校の「実習船やいづ」に乗船し、船上研修や伊豆大島での研修に参加しました。生徒らは、船上での規律訓練や船の操縦、釣り、伊豆大島での現地研修などを体験。海のまち「焼津」ならではの研修を通じ、海や水産業について理解を深めるとともに、友情を育みあいのある航海となりました。



木屋川ボートレース大会 オールをこいで元気に競走

7/22(日)、「木屋川ボートレース大会」が5年ぶりに木屋川(田尻北)で開催されました。これは、港地域づくり推進会(港第14・第23自治会)が、明るいつづくりを目指して開催しているもの。参加者は「ソレ!」の掛け声で息を合わせてボートを漕ぎました。最初は、真つすぐ進むことに苦勞していた各ボートも、だんだんこつをつかみ、最後は皆、笑顔でゴールしていました。

焼津神社「神ころがし」の子の健やかな成長を願い「アンエットン」

8/11(祝)と12(土)、国選択無形民俗文化財である「神ころがし」が焼津神社で行われました。これは、子どもの健やかな成長を願い行われるもので、二人一組の神社時代が「アンエットン」の掛け声とともに赤ちゃんを回したり、揺らしたりし、その時の泣き声が大きいほど丈夫に育つと言われていました。今年もたくさんの子どもの元気な泣き声が境内に響き渡りました。

今月の褒紙 焼津神社「獅子木遣り」

8月13日に行われる焼津神社大祭渡御行列では、2基の神輿が勇壮に町中を練り歩きます。この行列の先頭で、手鼓舞衣装を身に着けた少女たちが、雄雌2頭の獅子頭から延びる獅子幕を持ち、木遣り歌を歌いながら市内を歩く民俗行事が「獅子木遣り」です。1978年に県無形民俗文化財に指定されました。